



ゆうすい

嘉島西小学校 学校便り

令和6年6月3日
文責：校長 江上 知男



落とし物コーナー

「物にも心がある」と思うのです！

太陽の広場(第1校舎1階)の片隅に、「落とし物コーナー」があります。校内の落とし物が集まってくる場所です。私は、毎日ここを通るたびに心がチクツとします。このコーナーの物が、減るところか増える一方だからです。集まっているものは決して古い訳ではなく、まだまだ使える物ばかりです。

「もったいない」という考え方をすり込まれて育った私は、「子どもたちは物をなくして帰ったら、家の人に叱られないのかな…」とか「明日からの生活に困らないのかな…」と考え、ドキドキします。感覚が古いのかも知れません。

私は、実は「物にも心がある」と思っています。心とは、

「買ってしまった方のその人に対する愛情」だとか、「使っている人が物にいだく愛着」などだと感じています。そして、「物を大切にしていると、いつか自分を助けてくれる」と信じています。例えば、野球をやっていた頃の私は、「ピンチで必ず助けてくれる」と信じてグローブを磨いていました。

「地球環境の悪化」が深刻になっている現在、エコロジー(環境保全)やサステナビリティ(持続可能性)の観点はとても重要だと思います。「物にも心がある」と考えることで、無駄を減らし、より持続可能な生活を送る意識が高まるのではないのでしょうか。ぜひ、ご家庭の話題にさせていただくとともに、今度来校された際、「落とし物コーナー」を覗いていただければ幸いです。

交通教室を実施しました！

5月31日(金)に交通教室を実施しました。交通事故防止は、本校の「最重要課題」です。当日は、御船警察署、役場、交通指導員の方々に来校いただき、1・2年生は校外で「横断歩道の渡り方」、3・4年生は体育館で「自転車の乗り方」について学習しました。

特に、1・2年生は雨が降る中でしたが、学校近くの国道(445号線)交差点の横断歩道で、実際に左右確認し、手を挙げて渡る練習をしました。子どもたちは、実際に車がたくさん通る中での学習でしたので、緊張感を持って真剣に取り組んでいました。



交通教室の様子

ところで、私は毎朝時間が許す限り学校周辺の交差点等に立つようにしていますが、ものすごく危険な通学路であることを実感します。そんな中、保護者の方々はもちろんのこと、登下校の時間に交通指導員さん、地域のボランティアや町老人クラブ連合会の方々が子どもたちを見守ってくださっています。まさに「命」を守っていただいております。心からお礼申し上げます。

スズメが校舎内に…

5月30日(木)の午前中に、1年教室前廊下にスズメが入って「オルガンの下に潜り込む」ということがありました。職員が対応しようとする、ある6年生がスズメを心配して、一生懸命に助けようとしてくれました。結果的に2羽のスズメを助けてくれたのですが、その後も飛べなくなったスズメを「ケガは大丈夫か？」と心配していました。幸いなことに2羽とも飛び立ちましたが、その6年生の心の優しさに、「私の心」も癒やされた感じがしました。